

文化いせさき

第12号



能満寺の芭蕉句碑／撮影者 高澤 良彦

伊勢崎市文化協会

令和5年度伊勢崎市文化協会事業日程計画

伊勢崎市文化協会では、一年間を通して下記のような行事を行います。
各期とも入場無料ですので、皆様お気軽にご来場ください。



期別	開催日	事業名	会場	
—	4/2	華蔵寺公園花まつり郷土芸能発表会	華蔵寺公園野外ステージ	
第1期	令和5年	8/27	【諸芸部門】発表会	人材派遣ワイズコーポレーション境総合文化センター（大ホール・和室）
		9/1~3	【美術部門】総合作品展	人材派遣ワイズコーポレーション境総合文化センター（小ホール・展示ロビー・一般展示室）
		9/3	【洋舞部門】洋舞フェスティバル	人材派遣ワイズコーポレーション境総合文化センター（大ホール）
		9/3	【茶道部門】茶会	人材派遣ワイズコーポレーション境総合文化センター（茶室・和室）
第2期	令和5年	11/18、19	【自然部門】総合展	人材派遣ワイズコーポレーション境総合文化センター（展示ロビー・一般展示室）
		11/18	【音楽部門】市民音楽祭	人材派遣ワイズコーポレーション境総合文化センター（大ホール）
		11/19	【郷土芸能部門】郷土芸能大会	人材派遣ワイズコーポレーション境総合文化センター（大ホール）
第3期	令和6年	2/2~4	【書道部門】書道展	人材派遣ワイズコーポレーション境総合文化センター（小ホール・展示ロビー・一般展示室）
		2/4	【歌謡部門】発表会	人材派遣ワイズコーポレーション境総合文化センター（大ホール）
		2/10、11	【文学部門】文学祭	人材派遣ワイズコーポレーション境総合文化センター（展示ロビー）
		2/10、11	【華道部門】いけばな展	人材派遣ワイズコーポレーション境総合文化センター（一般展示室）
		2/11	【民謡民舞部門】民謡民舞発表大会	人材派遣ワイズコーポレーション境総合文化センター（大ホール）
第4期	令和6年	3/22~24	【写真部門】写真展	メガネのイタガキ文化ホール伊勢崎（文化会館）（第2~5展示室）
		3/23	【吟剣詩舞部門】吟剣詩舞の集い	メガネのイタガキ文化ホール伊勢崎（文化会館）（小ホール）
		3/24	【邦楽舞踊部門】邦楽舞踊のつどい	メガネのイタガキ文化ホール伊勢崎（文化会館）（大ホール）

編集後記

長い三年間でした。新型コロナウイルス感染症による社会的影響もようやく落ち着きを取り戻し、ほぼ収束に向かっているように感じられます。これを受けて当協会加盟の各団体の活動も少しずつかつての活動を取り戻しつつあるように見えます。

この問題が発生して以後刊行された二巻（第一〇号、十一号）の「文化いせさき」の記事を読み返して見ると、私達の文化活動に与えた影響が、手に取るように感じられ、記録としても大きな価値があるように思えます。

この三年間の負の影響は極めて大きく、多くの団体で会員の減少や活力の低下など大変なダメージを受けているようです。

しかし、これから徐々に平常な状態に戻って行くと思います。できるだけ早くコロナ禍以前の活力を取り戻していただくことと期待しています。

石田 英生 記

コロナ禍を克服し、世代間の交流を目指して



伊勢崎市文化協会
会長 新井 哲郎

ここ数年、世界的に猛威をふるっていた新型コロナウイルス感染症も、ようやく一定の落ち着きを見せ、令和五年五月からは感染症法上の位置付けも季節性インフルエンザと同類の五類へ移行となりました。我々、伊勢崎市文化協会もコロナ禍という経験したことのない危機を何とか乗り越えることができたと感じております。このことは、あらゆる活動が制限されるなどの困難な状況のなかでも、各団体・各会員の皆様が文化芸術を振興・継承してこうとうという不断の努力により成し遂げられたものと思います。各団体・各会員の皆様には改めて敬意を表すとともに感謝申し上げます。さて、令和四年度の伊勢崎市文化協会は、当初の計画通り十五部門全てにおいて、展示会・発表会を開催することができました。実に三年ぶりの発表会・展示会となる団体もあり、各会員の皆様が心待ちにしていた成果発表の場を設けられたことと、来場者へ文化芸術に親しむ機会を提供できたことは、大変意義深いものと感じております。また、伊勢崎市文化協会は新しく令和四年度より、子どもたちに水墨画、フラワーアレンジメント、尺八や三味線などに直接触れてみて文化芸術をより身近に感じてもらおうという取り組みを開始しました。令和五年度はこの取り組みをさらに拡充し、本事業を未来を担う子どもたちと、文化芸術を次世代へと継承をしていかなければならない我々との懸け橋としていきたいと思っております。結びに、日頃より伊勢崎市文化協会を支えて下さっている賛助会員の皆様を始めとする関係各位、事務局員には心より感謝申し上げますとともに、今後とも従来にも増してのご尽力とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます、挨拶とさせていただきます。

伊勢崎市文化協会 各部門のあゆみ

茶道部門

茶会によせて

高城 とし江

厳しい冬も終わり初花月になりました。近づく春と一緒に制約の少ない日常生活を思い描くのは早計でしょうか。コロナ禍という未曾有の事態とはいえ、総ての日常のあまりの変化にただただ驚くばかりです。

令和四年九月四日、伊勢崎市境総合文化センターで開催され



た文化協会秋の茶会は、沈んでいた伊勢崎茶道会の活力の元となりました。

当時、文化協会、また、県や市の茶会は相次いで延期や中止になり、出口の見えない長い時間を過ごしていました。その様な時のゴーサインでしたので、茶会に向けて始まったコロナ対策を踏まえた会議は、とても充実した活発なものとなりました。手探りの安全対策ながら知恵を出し合い会議を重ね、待ち望んだ当日を迎えることができました。

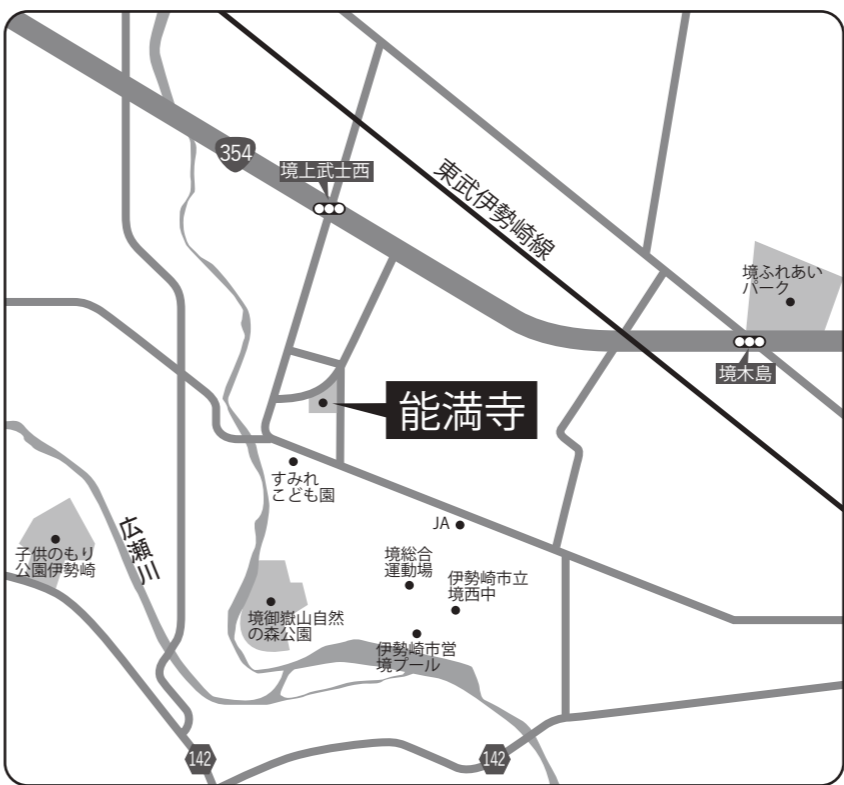
文化協会の皆様の絶大なご協力による立派な席札や案内板には大変感激したものです。



また、特にご多忙中の折にも関わらず、臂市長の来席をいただき緊張の中にも楽しいひと時を過ごすことができました。

【表紙説明】 摩尼珠山 虚空藏院 能満寺

能満寺は、伊勢崎市境上武士にある新義真言宗の寺院です。能満寺の始まりは、平安時代中期とされ、千年以上の歴史を誇り、江戸時代には、総持寺(太田市世良田町)、大慶寺(太田市新田大根町)とともに、学問修行所である新田三談林の一つに数えられ、文政四年(一八二二年)の再建から、今も当時の姿を残しています。長和元年(一〇二二年)、僧である快尊の開山であると伝えられています。境内には、立派な枝垂れ桜や、芭蕉句碑が訪れる方々の心を和ませています。



(1)



は、長年会員が書き溜めた童話や表紙絵や、挿絵の原画が展示されました。また、紙芝居を楽しむ会でも、長年作り溜めてきた作品を沢山並べて展示しました。

各部門それぞれの会員が、力を注いで作り上げた作品の展示ではありましたが、それらの作品をゆっくり観賞したり、目を通すには、一日では時間が足らず残念に思いました。いつかまた、ゆっくり観賞したり、読んだりする機会が持てたらと願っています。

雪のため、一日だけの展示発表となつてしまいましたが、事務局の皆様には日程の変更、伝達、作品展示の準備等、最初から最後まで大変お世話様になり有難うございました。



(2)

文学部門

第十六回文学祭に参加して

吉沢 典子

今年もコロナウイルスが収束しきれない中、感染予防の徹

茶席でのおもてなしは、お客様の表情を感じながらごく近い距離での対応が求められます。今はまだかかないませんが、一日も早く安心してマスクを外せる、どこからでも笑い声が聞こえる日常が戻ることを心から願ってやみません。

作品の方は、短歌では日常の暮らしの中で聞きしたり感じたことや、思いを詠んだものが多く見られました。また俳句部門では、俳画を取り入れながら作品を表現した句が多く見られ、寒さの中に春を感じ、待ちわびる句が多く見られました。また、群馬童話研究発表会で

音楽部門

音楽祭を終えて

柴崎 登起子

コロナ感染を心配しながら始まった令和四年十一月十九日の「市民音楽祭」も、当日は天候に恵まりました。

最初にISESAKI SMC BIG BANDの軽快なリズムに、観客席の高揚が伝わってくるようでした。

コーラスの部門では艶やかな声で創意工夫され、全身で歌う姿に観客は魅了されました。「歌は生きるための心の糧」「毎日の生活を楽しく豊かに」していることを実感しました。

最後のアイオーしんきん音楽部による吹奏楽は爽やかでした。



それからコーラスの方々が舞台の雑壇に上がる時につまずく様子が見受けられました。参加者も高齢化していますので、雑壇に上がりやすい台を置かれては如何でしょうか。

私達のオカリナ教室では辞めた先輩と五年ぶりの再会を喜び合いました。

次にチラシの件ですが、ハガキ大のチラシの配布先に苦慮し、近所のポストへ入れましたとのお話もありました。これから、チラシ配布を全戸配布の広報に掲載できれば漏れなく各家庭にお知らせができ、観客も増えると思います。是非ご検討ください。

令和三年度は五年に一度の文化祭も一部開催となりました。関係者の方々の労に感謝します。また、音楽部門の理事の方々と

お会いできたこと嬉しく思います。最後にアイオーしんきん音楽部のような若い方の参加を期待します。

歌謡部門

「コロナ禍」発表会できたことに感謝

船戸 省三郎

令和四年度は、心新たにし、コロナ禍に打ち勝って、「年二回」恒例の発表会を開催することを役員一同誓い合い、スタートいたしました。幸先良く「TUTUJクラブ」代表米山とみゑさんが新規に加入され、高齢化により脱会団体の声を聞く中、歌謡部門ではすこぶる明るく、そして勇気付けられました。前年度は文化協会設立十五周年、十五部門合同での発表が計画され、参加準備してまいりました。しかし、当時は先行きの見えぬコロナ禍、最後は部分開催のため、会員の安全を第一に不参加を決定した経緯がございました。その経験を活かし、歌唱指導して下さっている先生には、計画どおりに発表ができるようお願いしてまいりました。その成果が実り、第二十八回発表会は、

令和四年六月十一日(日) 出演者百一名、第二十九回は、令和五年二月五日(日)百三十四名の参加者を迎え、境総合文化センター大ホールで年二回の発表会ができました。これもひとえに出演者及び来場者一人一人が、コロナ感染に対し、細心の注意を払っていただいていたの行動により発表会ができましたことに、心より感謝申し上げます。また市担当者を始め関係各位にお礼申し上げます。歌を通じて多くの皆様と絆を深め、次回は節目でもある第三十回となりま

す。記念すべき歌謡部門次回発表会に向け、一丸となつて精進してまいります。



『やまない桜のごとく』

川島 かずみ

今年は、例年よりも早い春の訪れと共に私達邦楽部門は、「第十五回邦楽舞踊のつどい」の開催を迎えました。

今回の発表会から能の方もご参加いただくことになりまして、十六団体それぞれが個性豊かに、人の心を捉えてやまない桜のごとく、舞踊とお琴の演奏を無事に披露させていただきました。

これもひとえにお客様を始め、市文化観光課の皆様、また文化会館職員の皆様のお陰と感謝の念に堪えません。

ところで、日本の伝統芸能の一つである歌舞伎は、日本舞踊



邦楽舞踊部門

を通じてより充実した人生を送ることができたら幸いと思えます。

民謡民舞部門

待っていた発表会

大谷 ヒデ子

令和五年二月十二日(日)、待ち望んでいた発表会の日が、やっと、やって来ました。三年ぶりの発表会。でも前日に雪が降って、最初どうなるかと心配しましたが、神様がついていてくれたのか、当日は天候も回復し、雪も融けてくれて本当に良かったです。でも立春は過ぎたといえ、二月は毎年

とても寒い。雪がやんでくれたのは良かったけれど、とても寒い一日でした。

久しぶりに着物を着て、あわただしく出掛けて行きました。私はじめ、会員の皆様も三年分年をとってしまいました。が、楽しみにしていたその日を、久々に皆さんが満喫してくれたと思います。

伊勢崎市長も会場で、しばらく舞台を見学して下さったとのこと。うれしかったです。そして、温かい御祝辞をいただき、感謝いたしました。一日も早くコロナが、そして、ウクライナの戦争も収束してくれ、心配なくいろいろな行事ができる世の中になってくれますことを願って、また私達も稽古に励みたいと思います。

吟剣詩舞部門

コロナ禍の先に向かって

石田 英生

あれから三年、長いトンネルをようやく抜けようとしています。吟剣詩舞部門は、残念ながら昨年の「伊勢崎市文化協会合併十五周年記念文化祭」への参加は見送りましたが、会員の皆さんの希望もあり、昨年十月二十二日に伊勢崎市あずまホールにおいて、会員のみに「吟剣詩舞の集い」を開催しました。

コロナ禍の影響によって、いろいろと制約のあるなかでの催しでしたが、皆さんの明るい表情、また、生き生きとした吟や舞を見ることができ、一安心したところでした。

その後、世の中の雰囲気も随分落ち着きを見せ、明るい兆しが出てきたことから、本年三月十九日には新装なったメガネのイタガキ文化ホール(伊勢崎市文化会館)の小ホールにおいて、令和四年度の事業として「第十六回吟剣詩舞の集い」を開催いたしました。

今回は、新規加入を含め十六団体による大会となり、長い



ブランドの影響も感じさせない素晴らしい吟と舞に感動したものでした。このような皆さんの元気な姿に、これからの明るい兆しを感じました。

コロナ禍の三年は、社会的にも計り知れない負の遺産を残しました。今後、その影響がどのように現れるか予測できませんが、私たちがこれら文化活動



郷土芸能部門

出来るところから再開

菊池 広文

我々の郷土芸能部門も二二年間は安全を優先し発表会等は控えていただいていた。今年度は新型コロナウイルスの考えに則り、感染状況を見ながら少しずつ行事をしていくこととしました。

まず四月の華蔵寺公園花まつりですが、上州あずま太鼓会さんと群天星(むりていんぶし)さんの二団体のみの出演でしたが、郷土芸能発表を三年ぶりに再開させていただきました。市長のあいさつで、これを皮切りに今年はいイベントを再開させて行きたいとお言葉が印象的でした。観客の皆さんも最後まで席を立つ人がほとんどおらず、開催の判断に間違いはなかったと感じました。

その後、感染者が少し増えた時期もありましたが、いせさきまつりは以前と同じ全部門で実施することが決まり、こちらも三年ぶりに開催されました。開催時期を比較的涼しい九月にずらした成果もあり

多くの人で賑わいました。

郷土芸能発表は、従来通りおまつり広場のステージを借り、九団体での発表を行いました。発表中ほぼ満席状態で出演者、観客ともども皆が楽しむことができました。やはりお祭りができると地域愛が高まり結束が固くなりますね、感動しました。

年間の主要行事であります郷土芸能大会は、十一月二十日に境総合文化センターにて今年度最多の十五団体の出演により開催しました。各団体とも未だ練習環境等にも制約があり、本来のパフォーマンスが発揮できない部分もあったかと思いますが、郷土芸能の普及・発展・継承にかける意気込みを感じました。



洋舞部門

久しぶりの発表会

藤本 清子



今回の司会進行は長年務めて来られた渡辺のり子さんの都合が悪く、比肩するような代役はなかなか居ないだろうと心配しましたが、渡辺さんのお知り合いの唐澤優子さんが、細やかな気配りを以て立派に努められました。おみそれしました。才色兼備のお二人には今後も永くよろしくお願いいたします。

次年度はコロナ前に戻った行事ができそうです。体制を整え、良い活動をして行きたいと思えます。

令和四年九月四日(日)境総合文化センターで洋舞部門発表会が開催されました。レクダンス、フラダンス、ペルーのダンスの二十一団体の参加でした。初参加のペルーのダンスはリズムカルで軽快な踊りで会場が盛り上がりました。同時に美術部門と茶道部門も開催されましたが、コロナ対策が各所で行われ、多数の方が見えない中、無事に終わりました。今年度は、コロナ禍の中でも少しずつ各部門で開催されつつある中で洋舞部門が開催されることになり、久しぶりの発表会に向けて会員の皆さんもやる気を持ち直し、一生懸命練習に励むことができました。

参加者は衣装に着替え、出場する直前の団体以外は会場で鑑賞することになっているので、会場は華やかな衣装姿の人々や観客で席はほぼ埋まりました。

市長も来賓のご挨拶の中で活気あふれる会場をご覧になり、一日も早くこんな光景が取り

り戻せることを強く思われた様子でした。やはり文化活動は生涯続けて行き、元気でいられることは喜びであることを再認識させていただきまし



(5)

自然部門

文化祭におもう

青木 稔

令和四年度も新型コロナウイルスに振りまわされ、集会等の制限が入りましたが、所属団体の皆様が工夫をこらし、愛好会活動を進めてこられたようです。発表会は例年の通り、境総合文化センターで開催され、大勢の方に鑑賞、参加を賜りました。また、十五周年記念文化祭が三月に行われましたので、年二回の展示となりました。

自然部門は植物を主体とした愛好会ですので、春と秋の展示ですと、例えば、盆栽等の春の芽吹き前の状態と、晩秋の



紅葉、実がなった結実の様子の違いを年内に比較して鑑賞できたのではないかと考えております。

筆者の団体も所属する人が高齢化し、新入会員がいないために、存続の危機に瀕しております。愛好者の皆様の参加を切にお願いいたします。



諸芸部門

年をとっても元気一杯

菊池 正之

私は、マジックをはじめ十七年目に入ります。会員十人の平均年齢は七十歳を超えているが元気一杯手品の技を磨き続けている。何よりも地域



のミニデイスービス等に出て行き自信をつけ、一番腕を磨ける場がコロナ禍でできないことが悔しい。

令和四年八月二十七日(土)第二十回記念伊勢崎マジシャンクラブ発表会が開催されることになり、この日のために地元殖蓮公民館で毎月二回先生の指導で、音楽、服装、動作、笑顔、そして手品の技ひとつひとつ指導を受けながらリハーサルを重ねた。そして満を持して三年ぶりにステージに立った。コロナ禍である中、お客さんは見に来てくれるのか不安だったが、三百人の入場者。年をとっても元気にやるぞー。

ナンバー一番愛情物語スタート、マジック「寅さん」お笑い芸人に会場は大笑い、私はドジョウが出てきて「こんにはは」、リクエストが多くてね、鮮やか

美術部門

早く春よ来い

鈴木 茂

令和四年九月二日(金)から四日(日)の三日間、境総合文化センターにおいて、第十五回総合作品展を新型コロナウイルス禍での開催とあって、徹底した感染防止対策をしたうえで開催でした。今回は、参加サークルも減少し、来場者も少なく、寂しさを感じる文化祭になったのは仕方ないことか、美術部会では六サークルが出品しました。

境水彩画会、その時季らしい新鮮な野菜や、可愛い子供などを彩り豊かに描いたのが印象に残りました。



(6)

フラワーアレンジメント華、天然石ビーズアクセHANNA、大小様々な作風に彩り豊かな組み合わせ、小品飾り棚など工夫があつて好感を持ってました。紫墨会、夏の山、涼しさ流れる滝、夏の終わりを告げるのうぜんかずらの花、愛らしいネズミ、題材が豊富で見る人の心を飽きさせないすばらしさを感じさせられました。

全日本愛瓢会、色のつけ方、小ささまざまな形のひょうたんに合った模様など、洗練された技術には目を見張る美しさを感じました、これからも、もつと頑張つて作り続けていたきたいと思ひます。

原ノ城窯、絵付けされた大壺、緑釉の丸壺、象嵌線文壺、緋襷の大鉢など形や色の变化、また、



一輪挿しや湯呑碗などバラエティーに富んだ作品が並び、見どころいっぱいでした。今回は六サークルと寂しさは感じましたが、内容は充実していたので良かったと思ひます。四日(日)の最終日は、洋舞と茶道部門が開催され、花を添えていただき盛り上がりました。早急に新型コロナウイルス禍が収束することを祈るばかりです。

書道部門

第十六回書道展を終えて

福島 厚子

立春も過ぎ、梅の花も咲き始め春の訪れを少しずつ感じられるようになりました。

令和五年二月三日から五日までの三日間、伊勢崎市文化協会主催の第十六回書道展が開催され、会場も境総合文化センターに戻り、十五団体、百七十二名の会員の皆様が参加し、前回よりも出品数も増え、会場のレイアウトも一部変更し展示されました。

今回の作品の数々は、それぞれ書風・表現方法等、個性があふれとても見応えがあり、自身の作品制作への良い刺激と

花々の力

岡田 美恵子

華道部門

穏やかな日差ししの駐車場には、大きな荷物を持った多くの出品者が足早に会場に吸い込まれて行きます。前日に大量の雪が降ったのが嘘の様な生け込みの日でした。展示会場は境総合文化センターに変わり、作品会場と駐車場も近くて、荷物の多い私達にとつては大変助かりました。雪のために展示時間が一日だけになったのは残念でしたが、集中したせいか賑わいを感じました。四十六点の力作も喜んでいただいております。さて、伊勢崎いけばな協会においては、昨年十一月に伊勢崎華道展を三年ぶりに本町ベイシア四階にて開催することができました。コロナ禍では、いつ中止になってもいたしかたないことでしたが、無事その日を迎えられたことは、私達会員はとても嬉しいことでした。皆さん三年ぶりとは思えない動きと連携プレイで作品に取り組みました。会場は一瞬で晩秋へと変わり、作品一点一点が貴婦人のよ



うに凛と立ち、穏やかで優しいものであふれていました。秋の彩りは生が終わる寸前の華やかさを感じます。中には大きな果実をつける枝もあります。植物の本能である子孫繁栄を、種子に託してバトンをつないで締めくくっているようにも思えます。そして一年の始まりである伊勢崎市文化協会のいけばな展二月十一日(雪のため十二日のみ)、展示ロビーからいつせいに春の色、香りが届き五感をくすぐりました。秋から思うと作品たちは元気に弾んでいるかに見え、「春は私達が連れて来たよ」と可憐な作品たちが手招きします。私個人としては、おすました作品よりその過程が好きです。

数人で大きな作品。意見を出し合い時間をかけたことが尊いです。珍しい花材を見るとどんな感じになるのか、のぞき



なりました。コロナ禍、ウクライナ戦争、物価高騰等、この数年で私達をとりまく社会は、思いもよらない要因で一変するものだとつくづく感じています。今回五百名を超える方にご覧いただきました。

見をしたりワクワクがとまりません。お互いに相談したり、失敗に大笑いしたりと、前日の会場は活気にあふれています。

そして、翌日の作品からは季節を先取りし、これから庭に咲く花をイメージしたり、気に入った花を帰るには買おうと思つた方、暖かくなったら春の花に会いに行こうとか妄想してしまう方もあつたでしょう。花展で始まり、花展で終わる一年が当たり前で過ごして数十年来ましたが、ここどころ当たり前が、当たり前でなくなってきたと不安を感じます。そんな時もそつと部屋の片隅でいつもと変わらない花達が、優しい色、おだやかな香りで癒してくれる。今日会場であつた花達にそう感じてもらえていたら幸せに思います。



文化・芸術は、このような時こそ必要不可欠なものであると感じるとともに、これからもより一層精進してまいりたいと思ひます。

写真部門

第十六回写真展を終えて

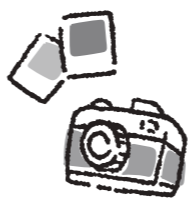
池田 育兄

令和五年三月十八日(土)から十九日(日)まで、メガネのイタガキ文化ホール伊勢崎三階第二(第五展示室)にて開催され、開催期間が二日間と短かつたにもかかわらず、二百余名のご来場をいただき無事終了することができましたことは、



ひとえに文化協会事務局、各写真クラブ会員の皆様の努力とご協力のおかげと思ひます。新型コロナウイルスも第五類になることが発表され、行動規制緩和により開放感が出てきているように思ひます。今後は撮影旅行やイベント、スナップ撮影にと創作活動に腕前を發揮していただき、次回の写真展の作品を楽しみにしています。

写真はプリントしてこそ写真。写真の醍醐味、写真文化を衰退させないように次世代に繋げて行きたいと思ひます。



伊勢崎市文化協会への新規加入案内

伊勢崎市文化協会は、伊勢崎市における各文化団体の連絡調整を図るとともに活動を援助し、その向上発展に務め、本市における芸術文化振興発展に寄与することを目的としています。各地域で活動なさっている皆さんも加入を検討してみてくださいいかがでしょうか。

《入会資格》

入会しようとする団体は、十名以上で組織する団体であり、常任理事会で承認を得て会員となります。

《部門》

- ①美術
- ②書道
- ③写真
- ④華道
- ⑤茶道
- ⑥文学
- ⑦音楽
- ⑧歌謡
- ⑨邦楽舞踊
- ⑩吟剣詩舞
- ⑪民謡民舞
- ⑫郷土芸能
- ⑬洋舞
- ⑭自然
- ⑮諸芸

の十五部門があります。皆様の活動内容にあつた部門にご加入の希望をお願いいたします。

【個人がいずれかのサークルに入りたい場合】

〈各サークルへの入会希望者〉事務局まで希望の部門・サークル名をご連絡いただければ、サークル代表者との連絡をお繋ぎいたします。

○お問い合わせ・入会の申し込み先

伊勢崎市文化協会事務局 伊勢崎市役所産業経済部 文化観光課内 Tel.0270-272759

子ども向けの体験事業を始めました



伊勢崎市文化協会では、新たに令和四年度から若い世代の取り込みを目的として、来場者・子ども向け体験事業を実施しました。

美術部門では、令和四年九月四日に水墨画とフラワーアレンジメントの体験事業を実施しました。水墨画を体験した来場者は、墨の濃淡のみで花や鳥などを表現する技法に感心しつつ、時間を忘れて水墨画を楽しんでいる様子でした。また、フラワーアレンジメント体験では幅広い年齢の人が集まり、それぞれが花々の配置を考えながら一つの作品を作り上げ、嬉しそうに自作のフラワーアレンジメントを持ち帰る姿が見られました。

民謡民舞部門では、令和五年二月十一日に「キッズ伝統芸能体験」として、実際に三味線・尺八に触れてみるという体験事業を実施しました。参加者は三歳から小学六年生まで多くの子どもたちに参加していただきました。参加した子どもたちは、三味線・尺八に関するクイズや先生からのお話を、和楽器と学校の授業で扱う楽器との違いを興味深く聞いていました。また、自分で三味線を弾いて音を出してみる時間では、音が出るのが楽しくて、何度も体験する子どもも見受けられました。

来場者・子ども向け体験事業の参加者からは、これを機に講師をしてくれた先生の教室に通いたいといった声も聞かれ、本事業の意義深さを実感しました。伊勢崎文化協会としては、今後、より多くの部門で同様の事業を実施していきたいと思っておりますので、協会役員をはじめ、会員の方々にはご協力をお願いいたします。

文化協会活動 ~アルバム~



音楽部門



歌謡部門



華道部門



郷土芸能部門



吟剣詩舞部門



自然部門



写真部門



書道部門



諸芸部門



茶道部門



美術部門



文学部門



邦楽舞踊部門



民謡民舞部門



洋舞部門

令和5年度 伊勢崎市文化協会団体名簿

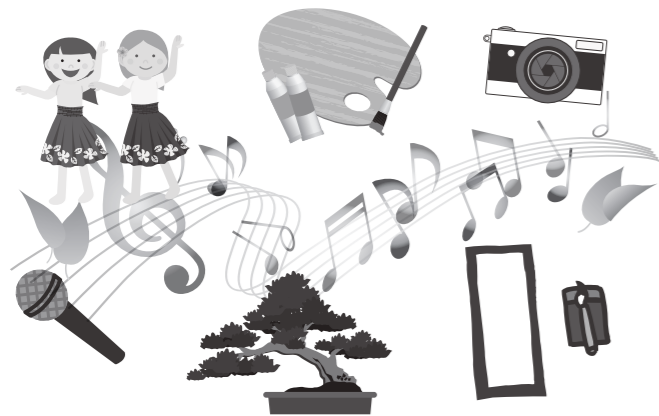
(令和5年5月1日現在)

	団体名	代表者	会員数
郷土芸能	30 上州国定睦	井上 潤	10
	31 福島町八木節保存会	本木 栄一	23
	32 群天星 (ムリティンブシ)	稲川 真寿美	24
	合計		936
洋舞	1 JAあずまフラクラブ	細野 京子	10
	2 レクダンス三郷	永島 トシ江	15
	3 ハイビスカス豊受	吉田 恵美子	11
	4 フラナニ・ブアリリレフア	松本 由美	10
	5 ハイビスカス赤堀	金井 比呂子	10
	6 ヒナノ	岡田 君子	10
	7 ピカケ伊勢崎	松原 晴美	13
	8 Puanani	宮崎 恵子	14
	9 レイモミ	牛久保 富美子	10
	10 三郷小町	平田 敏江	14
	11 ロゼラニ	森田 衣代	6
	12 フラサークルパカラナ	吉田 千恵子	10
	13 'Ohana Lōkahi	上岡 文子	60
	14 名和ナイスフラレディース	常見 美恵子	18
	15 フラグループ Nā Lei	高木 恵子	10
	16 カプア	藤井 洋子	12
	17 レクダンスKSG	菊池 キミエ	10
	18 Pasion Peru	竹原 ドラ	20
	19 レクダンス パープル	小澤 富士子	15
	20 ファイ オ クナ	角田 恵子	15
	21 フラナニ ロケ	田島 マサミ	10
	22 レクダンス名和	中川 美和子	14
	合計		324
自然	1 日本盆栽協会伊勢崎支部	阿久澤 嘉昭	13
	2 伊勢崎小品盆栽会	金井 由一	17
	3 伊勢崎市盆栽クラブ連合会	大和 洋司	96
	4 伊勢崎市蘭蕙愛好会	久保田 正	8
	5 伊勢崎山草会	島津 あけみ	11
	6 伊勢崎菊花同友会	小島 勝	18
	7 境山草会	瀬井 明	17
	8 うえはす山野草の会	小野里 美恵子	10
	合計		190
諸芸	1 あずま赤堀囃子愛好会	小保方 重吉	19
	2 伊勢崎マジシャンクラブ	菊地 正之	18
	3 伊勢崎愛刀会	新木 純夫	12
	4 伊勢崎佐波囃子会	栗原 幾雄	60
	5 境囃子研究会	天田 育宏	20
	合計		129
総計 184団体			4,639名

	団体名	代表者	会員数
吟剣詩舞	1 寿流日舞詩舞鶴登加会	山下 美津子	14
	2 寿流日舞詩舞鶴久紀会	原 けい子	20
	3 心彰流愛吟詩道会伊勢崎吟詠会	阿久津 幸次	9
	4 吟道館流伊勢崎吟詠会緑陰の集い	関 勝巳	50
	5 吟道館流上武吟詠会那波の会	石田 英生	30
	6 美扇流鶴緑会	金井 キヨミ	4
	7 吟道館流上武吟詠会瑞雲の会	岡林 延夫	15
	8 吟道館流伊勢崎吟詠会芙蓉の会	小林 清浩	14
	9 吟道館流伊勢崎吟詠会東吟の集い	塩島 弘子	10
	10 吟道館流伊勢崎吟詠会華の会	松村 進	22
	11 心彰流剣舞剣彰会	齋藤 ひとみ	15
	12 岳心流東栄諏訪美会	諏訪 勝美	12
	13 心彰流あずま吟詠会	小暮 利明	15
	14 心彰流あずま剣詩舞教室	白川 節子	10
	15 菊水流菊崇会	田村 雅代	8
	16 芙蓉会	小澤 まち子	16
	合計		264
民謡民舞	1 旭星会	高野 邁	10
	2 旭星会三絃尺八クラブ	高野 邁	10
	3 慎星会	鎬木 慎紀子	13
	4 天秋会	大谷 ヒデ子	10
	5 天秋会江原教室	江原 昌代	10
	6 秀月会	小峰 トシ子	10
	7 山輝稚会	森村 米多	10
	8 マズルカFD(フォークダンス)茂呂	松本 春野	16
	9 登三善会	浅沼 利子	10
	10 宮子民踊会	臂 勝代	5
	11 優乃会	水島 正枝	7
	合計		111
郷土芸能	1 八斗島民芸保存会	松本 好夫	25
	2 宮子町八木節保存会	井上 清行	20
	3 伊勢崎交通安全協会女性部八木節部	松島 カツイ	18
	4 神谷八木節会	高木 栄	25
	5 赤堀郷友会	金子 英保	18
	6 田下八木節会	今井 照彦	25
	7 上武士八木節同好会	高山 健	17
	8 上刈名八木節保存会	長沼 圭一	17
	9 百々親友会八木節部	菊池 広文	57
	10 伊勢崎和太鼓	半田 孝	20
	11 荒木流拳法保存会	鈴木 清一郎	20
	12 木遣り保存会	関口 二三司	50
	13 千本木龍頭神舞保存会	大和 弘幸	27
	14 南北千木町屋台囃子保存会	丸橋 良一	35
	15 西久保三おはやし保存会	常木 静子	12
	16 上州あずま太鼓会	須賀 正文	36
	17 氣楽流柔術保存会	水科 壽美	30
	18 下刈名獅子舞保存会	大橋 則之	18
	19 東新井獅子舞保存会	柄本 史朗	29
	20 東町囃子保存会	岡本 宇正	50
	21 女塚祭礼囃子保存会	真貝 豊	36
	22 栄町祭礼囃子保存会	鉄川 房伸	124
	23 三ツ木祭礼囃子保存会	室田 幸広	34
	24 上州・境雉子尾太鼓	柿沼 盈	46
	25 剛志民謡保存会	森村 清志	17
	26 赤堀ひごろも太鼓	吉田 和義	12
	27 上州八木節西小保方匠	小高 友裕	11
	28 美茂呂町屋台囃子保存会	村田 利雄	30
	29 稲間組屋台・屋台囃子保存会	日野原 宗雄	20

	団体名	代表者	会員数
音楽	1 伊勢崎市民吹奏楽団	境野 智章	48
	2 アイオーしんぎん音楽部	櫻井 綾花	16
	3 ISESAKI SMC BIG BAND	西野目 心吾	34
	4 早川歌謡バンド	広瀬 茂男	25
	5 合唱団コール・ルーエ	浜田 樹	29
	6 伊勢崎混声合唱団	矢内 三四卯	19
	7 伊勢崎コーラス・ノイエ	菊池 美幸	32
	8 境女声コーラス水仙	橋本 幸子	26
	9 コーラス・ヴィオラ	志村 美子	16
	10 伊勢崎第九を歌う会	櫻井 正彦	80
	11 混声合唱団 風	池田 昌子	22
	12 あすなるハーモニカクラブ	石橋 久	18
	13 凜	平田 康子	16
	14 オカリナ・響	新井 美智子	15
	15 コール ぼこ・あ・ぼこ	田中 悦子	28
	16 あんさんぶる22	下田 清子	12
	合計		436
歌謡	1 あずま白樺会	船戸 省三郎	25
	2 櫻桃会	植木 昭一	52
	3 白川恵美歌謡学院境教室	北 サヨ子	105
	4 大国歌謡クラブ	荒井 通好	60
	5 清水歌謡教室	清水 巖	95
	6 植木歌謡教室	植木 春江	18
	7 ラッキーなかよし会	伊藤 ひろみ	26
	8 TAKESHIクラブ	井上 喜久寿	28
	9 歌謡教室ひばり会	田島 初美	15
	10 歌謡教室チェリー	奥積 房江	31
	11 TUTUJIクラブ	米山 とみ糸	10
	12 サークル・プルメリア	亀井 邦夫	17
	13 サークル・いろはにほ	川島 美重子	33
	合計		515
邦楽舞踊	1 伊勢崎邦楽舞踊協会	青山 正弘	120
	2 祐妃会	川島 かずみ	20
	3 祐紅会	飯塚 悦子	10
	4 扇優会	石倉 優美子	22
	5 いづみ会	藤枝 敏子	8
	6 吉三会	飯野 弘美	10
	7 若駒会	星野 良枝	10
	8 舞踊松葉会	田所 陽子	12
	9 琴謡会	井上 明子	8
	10 美也珠会	小島 美也子	10
	11 日本舞踊あゆみ会	佐野 恭子	26
	12 樹風会	小竹 淑子	10
	13 久紀の会	川端 和子	20
	14 ことほぎ	尾内 能利江	11
	15 好風会	角田 庸子	10
	16 やなぎ会	高橋 ゆり子	8
	17 いせさき能実行委員会	齋藤 美智子	11
	18 成駒会	高山 晴江	10
	合計		336

	団体名	代表者	会員数
美術	1 紫墨会	児島 貞二郎	13
	2 境水彩画会	田島 敏宏	16
	3 全日本愛瓢会 群馬県支部	原 角雄	50
	4 境フラワーアレンジメントサークル	齋藤 美智子	33
	5 フラワーアレンジメント華	茂木 徳子	15
	6 原ノ城窯	鈴木 茂	13
	7 天然石ビーズアクセHANA	近藤 悦子	10
	8 耕文会	新井 誠二	10
	合計		160
書道	1 清月書道会	福田 令子	40
	2 書道研究 墨鳴会	丸橋 孝男	50
	3 書芸研究会	北爪 真里子	5
	4 円かな書会	栗原 ウメ子	14
	5 玉葉会	石橋 満津枝	17
	6 昇雲会	藤枝 幹雄	30
	7 祥山書会	神宮 まり子	11
	8 書宝会	松本 近史	10
	9 雪月華書道会	高野 千春	10
	10 草友会	高柳 託治	9
	11 大蛙洞書道会	大貫 八生	17
	12 東光書道会	新井 哲郎	40
	13 淵名印社	大貫 勝利	10
	14 翠香会	根岸 幸子	23
	15 利根書会	町田 直美	17
	合計		303
写真	1 写団国定	神田 武	7
	2 写団チングルマ	橋本 智明	15
	3 ほのぼの写真クラブ	前野 龍一	8
	4 P.C アベックス	池田 育兄	14
	5 写真倶楽部ペーニャ	小倉 良枝	50
	6 [写心塾]A.P.C.	秋山 暉	11
	7 フォトクラブ遊	柳澤 満之助	10
	合計		115
華道	1 伊勢崎いけばな協会 桜	長谷川 恭子	100
	2 伊勢崎いけばな協会 松	永島 治子	100
	合計		200
茶道	1 伊勢崎茶道会 大日本茶道学会	宮澤 春江	106
	2 伊勢崎茶道会 江戸千家宗家	中島 澄子	120
	3 伊勢崎茶道会 表千家	加藤 茂美	150
	4 伊勢崎茶道会 裏千家	萩原 豊子	100
	5 伊勢崎茶道会 江戸千家	有川 よし子	30
	合計		506
文学	1 みさと短歌会	吉沢 典子	6
	2 境図書館短歌会	光山 半彌	18
	3 群馬童話研究会	木村 幸江	15
	4 鈴木惣太郎を守る会	新藤 暁旦	45
	5 紙芝居を楽しむ会	新藤 靖	20
	6 伊勢崎市市民俳句会	真鍋 俊男	17
	合計		121



令和5・6年度 伊勢崎市文化協会役員名簿

敬称略

役職	氏名	所属部門	役職	氏名	所属部門
会長	新井 哲郎	書道	常任理事	吉沢 典子	文学
副会長	児島 貞二郎	美術	“	下田 清子	音楽
“	丸橋 孝男	書道	“	櫻井 綾花	音楽
“	関 勝已	吟剣詩舞	“	植木 昭一	歌謡
“	川島 和美	邦楽舞踊	“	荒井 通好	歌謡
書記	石倉 優美子	邦楽舞踊	“	原 けい子	吟剣詩舞
“	長谷川 恭子	華道	“	大谷 ヒデ子	民謡民舞
会計	永島 トシ江	洋舞	“	江原 昌代	民謡民舞
“	菊地 正之	諸芸	“	菊池 広文	郷土芸能
監事	茂木 徳子	美術	“	柿沼 盈	郷土芸能
“	小倉 良枝	写真	“	細野 京子	洋舞
常任理事	池田 育兄	写真	“	金井 由一	自然
“	永島 治子	華道	“	阿久澤 嘉昭	自然
“	有川 よし子	茶道	“	小保方 重吉	諸芸
“	萩原 豊子	茶道			

令和4年度 伊勢崎市文化協会会報編集委員名簿

敬称略

No.	役職	氏名	部門	所属
1	委員長	石田 英生	吟剣詩舞	吟道館流 上武吟詠会 那波の会
2	副委員長	吉沢 典子	文学	みさと短歌会
3	委員	鈴木 茂	美術	原ノ城窯
4	“	福田 令子	書道	清月書道会
5	“	池田 育兄	写真	P.C アペックス
6	“	松永 幸江	華道	伊勢崎いけばな協会 松
7	“	有川 よし子	茶道	伊勢崎茶道会江戸千家
8	“	柴崎 登起子	音楽	オカリナ・響
9	“	船戸 省三郎	歌謡	あずま白樺会
10	“	飯塚 悦子	邦楽舞踊	悦紅会
11	“	鍋木 慎紀子	民謡民舞	慎星会
12	“	金子 英保	郷土芸能	赤堀郷友会
13	“	藤本 清子	洋舞	ハイビスカス豊受
14	“	青木 稔	自然	伊勢崎市蘭蕙愛好会
15	“	小保方 重吉	諸芸	あずま赤堀団碁愛好会

令和4年度 伊勢崎市文化協会賛助会員名簿

順不同・敬称略

No.	賛助会員名	代表者等	住所	電話番号
1	ギフトPR品のハロー商事	佐藤 剛史	伊勢崎市下蓮町253-2	0270-32-6096
2	川島美術印刷株式会社	川島 和美	伊勢崎市中町760	0270-25-8111
3	川島 和美		伊勢崎市今井町377	0270-26-7580
4	有限会社ワイズ・プランニング	山口 善弘	伊勢崎市今泉町一丁目1099番地	0270-24-5033
5	株式会社シンエイ	清水 秀明	伊勢崎市連取町2355-5	0270-24-7245
6	三橋寿司	阿久津 幸次	伊勢崎市昭和町4071	0270-23-8069
7	カワバタ設計	川端 俊明	伊勢崎市八幡町45-2	0270-25-8756
8	有限会社保坂工務店	保坂 正男	伊勢崎市波志江町3667	0270-24-1905
9	西ひとみ社会保険労務士事務所	西 ひとみ	伊勢崎市田部井町一丁目1166-20	0270-61-0570
10	平井産業運輸有限公司	磯 定雄	伊勢崎市平井町1082	0270-62-4102
11	株式会社桜井土建	櫻井 明江	伊勢崎市三室町6148	0270-62-3650
12	株式会社田村建設	田村 知幸	伊勢崎市小泉町450-4	0270-63-3333
13	紫墨会	児島 貞二郎	伊勢崎市昭和町1950-1	0270-25-4025
14	ナイトスポット梵	久保 美由紀	伊勢崎市上諏訪町1257-1	0270-23-6867
15	東光書道会	新井 哲郎	伊勢崎市境米岡685	0270-74-0533
16	フラワーアレンジメント華	茂木 徳子	伊勢崎市上田町171-23	0270-63-1627
17	清水生花店	清水 秋夫	伊勢崎市三光町7-23	0270-26-8741
18	フローリストみね	藤井 栄	伊勢崎市曲輪町15-10	0270-23-3628
19	有限会社 諏訪精工	諏訪 勝美	伊勢崎市国定町二丁目2065-3	0270-62-0126
20	ほしの呉服店	星野 勝正	伊勢崎市国定町一丁目1250-10	0270-63-0144
21	有限会社 飛翔	西村 敬右	伊勢崎市今井町410-2	0270-25-2018
22	東観光バス株式会社	中島 俊幸	伊勢崎市境上洲名1186	0270-76-5100
23	有限会社田澤商店(セブンイレブン)	田澤 透	伊勢崎市田部井町二丁目乙1262	0270-62-0018
24	細谷印刷有限公司	細谷 昌孝	伊勢崎市今泉町二丁目939-5	0270-25-0193
25	吟詠の会 関勝風教室	関 勝已	伊勢崎市美茂呂町3333-3	0270-25-3223
26	原ノ城窯	鈴木 茂	伊勢崎市三和町2366-14	0270-24-5779
27	橋本 千加子		伊勢崎市境栄130-3	0270-74-0617
28	八代肉店		伊勢崎市大手町4-8	0270-25-1960
29	ふたば美容室		伊勢崎市野町27-4	0270-62-5914
30	大成ブロック興業株式会社		伊勢崎市西久保町一丁目418	0270-62-1575
31	やなぎ会	高橋 ゆり子		
32	いせさき能実行委員会	齋藤 美智子		



長年にわたり文化活動に多大な貢献をされてきた協会構成員の方々を表彰しています。

敬称略

部門	所属団体	所属	部門	所属団体	所属
美術	全日本愛瓢会 群馬県支部	原 角雄	吟剣詩舞	吟道館流伊勢崎吟詠会緑陰の集い	小出 良子
書道	祥山書会	神宮 まり子	民謡民舞	登三善会	浅沼 利子
写真	写団国定	神田 武	郷土芸能	宮子町八木節保存会	井上 清行
華道	伊勢崎いけばな協会	佐藤 正子	洋舞	J Aあずまフラクラブ	細野 京子
文学	群馬童話研究会	星 瑛子	自然	日本盆栽協会伊勢崎支部	進藤 純男
歌謡	大国歌謡クラブ	荒井 通好	諸芸	伊勢崎愛刀会	新木 純夫
邦楽舞踊	樹風会	浅見 由紀恵			